

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課

☎0920(54)2341

対馬各地の地名 (大字編)

前号に引き続き、各地の大字名の由来についてご紹介していきます。

心地が違う場所であることから「西泊の古い里」ではなく「西泊より古い里」が語源である可能性を指摘しています。

だすの(こなど)という「漁具」を指す言葉だったが、対馬では「漁場」を指す言葉として用いられ、地名にもなったと指摘しています。

【上対馬町西泊】

『津島記事』によると、州府(現在の厳原)から朝鮮へ船で向かう時、あるいは対馬の東海岸側を船で北に向かう時に、西風に遭遇すると進めなくなる(日本海側へ押し流されやすくなる)ため、多くの船がこの港に停泊したことから、西泊と呼ばれるようになったと記されています。

【上対馬町古里】

『津島記事』には「西泊の故邑なり」とあります。故邑とは「西泊の古い里」という意味で、ここから古里と呼ぶようになったと記されています。

しかし『上対馬町誌』では『紀事』のいう西泊の故邑地と、本来の古里村の中

【上対馬町比田勝】

『津島記事』によると、古くは「比田方」と書き「ひたかた」と呼んでいたとあり、その語源は「干潟(ひがた)」が訛つたものとしています。「方」を「勝」と改めたのは、室町時代とされています。当時の島主宗貞茂に対し反乱を起した宗賀茂を、一族の宗茂久がこの地で討ち取ったことになんで、改められたとされています。

【上対馬町富浦】

『津島記事』によると、素戔嗚尊が韓土(朝鮮)へ渡る際に、この場所から船を出して豊に至ったため、飛ヶ浦と呼ぶようになったとされています。この語源は、豊崎郡や豊地区の語源とも共通していて「飛」とは船を出すという意味があり、いずれの地名も、その場所が朝鮮半島への往來の拠点であったことを示しています。

【上対馬町網代】

『津島記事』によると、この浦が「あじろ」とよばれる漁法をおこなうのに適した場所であったことが語源だとしています。

また『角川日本地名辞典』では、本来「網代」とは、川に仕掛けた簀(竹をあん



網代の漣痕

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- 夏休みの作品の参考になる本を展示中。いろんなものにチャレンジしてね!
- 赤毛のアンのコーナーを設置しています。ぜひご覧ください。

8月の休館日

休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

今月のおすすめ新着本

『朝食のとりに方で病気になる太らない!』

金本 郁男/著

朝食を見直すだけで血糖値がコントロールできる。しっかり食べてもダイエットができる。いつ、何を、どんなふうにとればいいのかを紹介。

『本屋さんのダイアナ』

柚木 麻子/著

自分の全てを否定していた孤独なダイアナに、本の世界と彩子だけが光を与えてくれた。正反対の二人だけけど、一瞬で親友になった。そう、「腹心の友」に。

『週末!キャンプ&アウトドア2014』

学研パブリッシング/編

家族でキャンプを楽しみたい人に向けて、実践派キャンパーやアウトドアの達人のアイデアや工夫、実用情報を徹底紹介。

『よのなかの図鑑』

寺本 潔/監

生活の中の素朴な疑問に答える図鑑。警官は事件がないとき何している? 子どもはなぜ学校に行く? お金は銀行で作る? なぜカードをビツとしただけで買える? など75テーマ収録。

『ごみしゅうしゅうしゃのゴンちゃん』

おおはし えみこ/著

ごみ収集車のゴンちゃんが、ごみを集めて出発!途中、郵便車やダンプトラック、カーキャリアに出会いました。みんな何を運んでいるのかな?

『おばけさん4 こもりさくせんはじめます!』

おかべ りか/著

ちょっとしたお手伝いから、人間にはできないような大きな仕事まで何でも引き受ける「おばけや」。今回の仕事は、一筋縄ではいかない女の子の子守で…。